

教 育 委 員 会 会 議 次 第

平成 2 6 年 6 月 2 7 日 (金) 15:00
教 育 委 員 会 会 議 室

1 開 会

2 案 件

(1) 議 案

- 議案第 7 号 「北九州市学校給食審議会委員の委嘱又は任命について」
(学校保健課長)
- 議案第 8 号 「平成 2 7 年度に北九州市立高等学校において使用する教科
用図書の採択について」
(指導第一課長)
- 議案第 9 号 「北九州市心身障害児就学指導委員会規則の一部改正につい
て」
(特別支援課長)
- 議案第 1 0 号 「第 1 1 回北九州市優れた教育活動等実践教職員表彰者及び
表彰時期の決定について」
(労務評価担当課長)

(2) その他報告

- その他報告① 「平成 2 6 年 6 月北九州市議会定例会の概要について」
(総務課長)
- その他報告② 「平成 2 7 年度使用教科用図書の採択に係る調査研究の進捗
状況について」
(指導第一課長)

3 閉 会

教 育 委 員 会 （ 定 例 会 ）

- 1 開催年月日 平成26年6月27日（金）
- 2 開催時間 15:03～16:07
- 3 開催場所 教育委員会会議室
- 4 出席委員 川原房榮（委員長） 吉田ゆかり シヤルマ直美 伊藤一義 彌登 章
垣迫裕俊（教育長）
- 5 事務局職員
- | | |
|--------------|--------|
| 教育次長 | 岩渕 英司 |
| 総務部長 | 小澤 周三 |
| 学務部長 | 花本 潤一 |
| 指導部長 | 渡邊 義隆 |
| 教職員研修・企画担当部長 | 大庭 正美 |
| 生涯学習部長 | 宇佐美 健次 |
| 人権教育担当部長 | 大竹 順司 |
| 総務課長 | 平野 義人 |
| 企画課長 | 松成 幹夫 |
| 施設課長 | 佐村 良夫 |
| 指導企画課長 | 今村 剛志 |
| 指導第一課長 | 弥永 和利 |
| 指導第二課長 | 平池 秀幹 |
| 特別支援教育課長 | 入尾 忠之 |
| 教職員課長 | 太田 清治 |
| 学事課長 | 吉竹 直人 |
| 学校保健課長 | 安藤 光春 |
| 学校規模適正化担当課長 | 簗田 昌一 |
| 教育課程担当課長 | 河村 信孝 |
| 労務評価担当課長 | 田中 真徳 |
- 6 書 記 総務課庶務係長 田内 淳也
総 務 課 末永 圭
- 7 会議の次第 別紙のとおり

教育委員会会議録（平成26年6月27日）

1 開 会

15:03 川原委員長が開会を宣言

以下の案件を非公開にすることを議決

- ・議案第10号 「第11回北九州市優れた教育活動等実践教職員表彰者及び表彰時期の決定について」

2 会議録署名委員の指名

川原委員長が会議録署名委員に、シャルマ委員と彌登委員を指名。

3 案 件

(1) 公開案件

議案第7号 「北九州市学校給食審議会委員の委嘱又は任命について」

本議案の提案理由を学校保健課長が説明。

〔提案理由要旨〕 北九州市学校給食審議会規則（昭和39年北九州市教育委員会規則第11号）第3条第2項の規定に基づき委嘱又は任命している委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱又は任命する必要があるため、この案を提出する。

原 案 可 決

議案第8号 「平成27年度に北九州市立高等学校において使用する教科用図書の採択について」

本議案の提案理由を指導第一課長が説明。

〔提案理由要旨〕 平成27年度使用教科用図書を採択するため、北九州市立高等学校管理規則第6条第1項の規定に基づき、この案を提出する。

川原委員長／選定理由をみると、どれも優れた教科書のようにあるので異存はない。その中で1つ尋ねたいのは、新規の採択が必要な科目について、「2年生の2教科は、昨年度の採択には教科書作成が間に合わなかったため」とあるが、こういうことは、普通では考えられないと思う。学校としてもその間、自主教材で対応しているということだが、かなりの労力が必要だと思うが、その点について伺いたい。

教育課程担当課長／実際、そういったことは珍しくはない。実際の対応としては、教科書に見合うような資料を学校が用意して指導にあたるが、その内容については、県教委がベースとなるものを持っており、それを参考に、例えば、教科では単元別に系統だった中身で構成したものを教科書の代わりとして使用し、指導している。

川原委員長／そのような県教委から示されたものがあれば、学校も授業がしやすいと思う。

原 案 可 決

議案第9号 「北九州市心身障害児就学指導委員会規則の一部改正について」

本議案の提案理由を特別支援教育課長が説明。

〔提案理由要旨〕 付属機関の設置に関する条例の一部改正に伴い、北九州市心身障害児就学指導委員会規則の一部を改正するため、この案を提出する。

原案可決

その他報告① 「平成26年6月北九州市議会定例会の概要について」

総務課長が報告。

〔報告要旨〕 以下の項目について報告。

- ・ 会期
- ・ 教育委員会提出議案
- ・ 質疑、質問の概要

シヤルマ委員／学校内の漏水について、この質問と答弁を見て、こういう現実があるということを知った。このような一斉点検は、これまでも行われてきたのか。

学事課長／これまで漏水が疑われる場合には、学校で点検することもあった。具体的には、夜間など誰もいない時間帯の前後にメーターを検針するといった方法である。その方法をこれまでも学校へ周知しているが、十分徹底されていなかったため、今回、初めて一斉点検を行うこととした。

7月から8月の半ばくらいにかけて、全学校において、夜間の前後、あるいは土日・祝日を挟む場合でも、学校開放などでも使われていない時期があれば、その間の前後で検針し、漏水の有無を確認することを考えている。そこで漏水という状況があった場合には、速やかに専門の業者に点検を依頼し、必要な補修を直ちに行いたい。

吉田委員／「今後の部活動のあり方と教員の処遇について」という質問についてだが、文科省が昨年、「運動部活動の指導のガイドライン」を出しているが、外部講師の採用や、教員の部活動指導にかかる教員特殊業務手当を増額する等、いろいろと士気を高めるために対応しているが、例えば、部活動の状況をどう思っているのか等、部活動の指導を行っている人からの把握は行っているのか。

指導第二課長／部活動そのものについて、特に、個別の活動内容の報告は求めているが、各学校長が自校の部活動のあり方について把握しながら、過度にならないように、また、保護者からの要望等にも応えながら指導している。

吉田委員／その中で、教員の9割を超える方々が部活動に関わっているが、このガイドラインと乖離があるのかないのかも含めて、検討していただければと思う。

指導第二課長／現在、部活動のあり方についての検討委員会を立ち上げており、その中で、子どもたちの部活動の満足度等も調べているところである。それから、部活動ハンドブック等を発行し、部活動の適切な運営のあり方については周知しているが、また機を見て、吉田委員のご提案についても検討してまいりたい。

伊藤委員／「子どもひまわり学習塾」は、まずは小学校でスタートしているが、スタートしている学校の子どもの参加人数について伺いたい。

指導企画課長／31校で930名が参加している。

伊藤委員／学校の規模によっても違うと思うが、一つの学校で何人くらい参加しているのか。

指導企画課長／20～30名である。

伊藤委員／20～30名に先生が2人なのか。

指導企画課長／指導員は、5～6名の児童に対して1人である。

川原委員長／30名の生徒であれば、5～6人の指導員ということか。

指導企画課長／そういうことである。

伊藤委員／5～6人に1人であれば、マンツーマンに近い状態で勉強を教えてもらえるため、成果が上がっていくと思う。あとは、教える側の質、ソフト部分の課題が出てくると思う。例えば、大学生でもいろいろな学生がいるので、ルールを徹底させること、そういったところについて議員からも指摘されている。問題が起きないようにしっかりと運営してほしい。高見小学校では、学生を集めて、具体的なルールについてしっかりと教えている。高見小に来ている学生は、とても礼儀正しく、職員室に挨拶に来て、終わったら報告をして帰るといったこともなされており、そういった部分を含めたルールを徹底したほうがよいと思う。

指導企画課長／指導員に対する指導については、最初の指導員への説明会の際に行ってはいるが、今後は、指導員を指導するための嘱託職員の校長OBを雇用しており、その方々や教育委員会の指導主事などが学校を巡回するなどして、具体的な教え方については伝えているところであり、徐々に改善されてより良い状況になるように努めている。

伊藤委員／学校によって差が出てくると思うので、底上げのためにも、それぞれの学校で一生懸命に取り組んでいただき、成果が上がるように努めてもらいたい。

川原委員長／学校ごとに班長のような役割を担う指導員を決めて、その人を中心に5～6名の指導員に対して指導するという方法が取られていると聞いている。

報告終了

その他報告② 「平成27年度使用教科用図書の採択に係る調査研究の進捗状況について」

指導第一課長が報告。

[報告要旨] 以下の項目について報告。

- ・平成27年度使用教科用図書見本本グループ回送について
- ・平成26年度教科書展示会
- ・平成27年度使用 小学校用教科用図書の種類数及び点数等

報告終了

伊藤委員発議

伊藤委員／共立総合研究所というところから「いい子どもが育つ都道府県ランキング」といったものが出ており、福岡県は2013年度が47県中45番目で、2010年は39番となっている。これは、全国学力・学習状況調査の生活習慣等のアンケートに沿って、都道府県のランキングが出されている。

生活習慣、意志・人格、家庭、道徳・規範等の項目ごとに都道府県のランキングが出ているが、福岡県はほとんどの項目で下位となっている。今回はこのような「いい子どもが育つ都道府県ランキング」について紹介する。

彌登委員／上位はどこなのか。

伊藤委員／1位はやはり秋田県で、宮崎県、山梨県、埼玉県、広島県と続いている。なお、最下位は大阪、次は北海道、その次が福岡県である。

(2) 非公開案件

議案第10号 「第11回北九州市優れた教育活動等実践教職員表彰者及び表彰時期の決定について」

本議案の提案理由を指導第一課長が説明。

〔提案理由要旨〕 第11回北九州市優れた教育活動等実践教職員の表彰者及び表彰時期について、北九州市優れた教育活動等を実践している教職員の表彰に関する規則第2条及び第4条の規定に基づき、この案を提出する。

シャルマ委員／多くの先生が候補者に挙げられていると思うが、例えば、候補者を挙げることに積極的な学校や消極的な学校があるために、学校で偏りが出たりすることはあるのか。

労務評価担当課長／学校へは、担当課長から優秀な方の推薦をお願いするなどして、どの学校からも候補者が挙がってくるように努めている。

教職員課長／学校に通知文を出しており、できる限り1名推薦していただけないかという声掛けをしている。

シャルマ委員／できる限り多くの先生が候補者になればと思う。

川原委員長／今回、事務職員や学校栄養職員にまで対象が広がったというのは、大変良いことだと思う。学校を支えているのは、教員ばかりではなく、事務職員や学校栄養職員の方々の力もある。ぜひ、これからもこの制度を続けていくことが必要だと思う。それが、事務の共同化、共同化のリーダーという方向にもつながっていくと思う。

彌登委員／日本人の国民性として、褒められれば「いや、僕の力ではないです。」という言い方をする人がいるが、謙虚さという意味と、褒められた人に対して妬みなどを持つ国民性であるような気がする。ぜひ、皆で諸手を挙げる表彰式にしたい。1人でも多くの先生方を表彰することで、モチベーションを上げてもらいたいと思う。

原案可決

4 閉会

16:07 川原委員長が閉会を宣言。